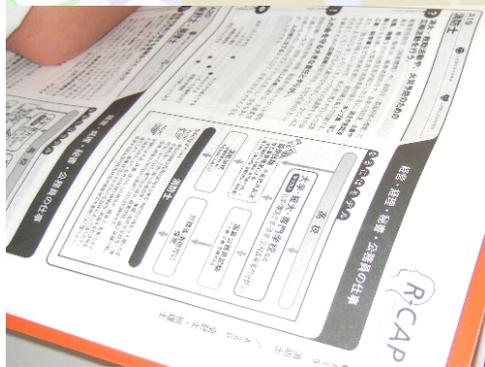




R-CAP(職業適性検査)実施!



本年度4月より新たにスタートしました「みらいプロジェクト」の取組の一環として1・2年生を対象に、2年生については4月、1年生については5月のLHRの時間に職業適性検査(リクルート社版 R-Cap)を実施しました。本年度も京都府教育委員会より「平成21年度学力向上フロンティア校」の指定を受け、補助金をいただきながら学力向上に係

る多様な取組を実施する中、まず客観的に自らについて知ることが大切であるとの観点からこの時期に職業適性検査を実施しました。

総数320問に及ぶ多岐にわたる各質問に答えることにより各生徒の「仕事の好み」・「職業適性」・「学問適性」・「パーソナリティータイプ」に対するそれぞれの分析を業者に依頼し、両学年ともに検査実施からおよそ1カ月後のLHRの時間の中で「振り返りシート」を利用して自らの適性について考える機会を提供しました。

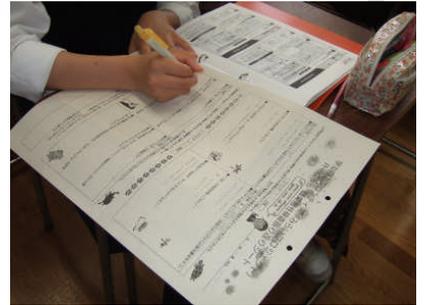


総数9ページに及ぶ個人ごとのデータ分析には各生徒ごとの様々な特徴等が詳細に網羅されており、自らの興味関心や適性などについて改めて自信を深めた生徒や、これまで気付いていなかった自らの意外な一面に気付かされた生徒など、今後の進路の方向性を考える上で極めて貴重な資料となりました。生徒が実際に知っていたり、想像できる仕事・学問の選択肢は極めて限られたものです。今回の適性検査はその幅を広げ、新たな可能性を示してくれたものと期待しています。今回の分析結果を有効に活用し、今後の高校生活を送る上での指針としてほしいと思います。

福高は、あなたの「みらい」を応援します!

生徒感想文

小さい頃は、就きたい職業がたくさんあったが、今は全くと言っていいほどない。どこかの大学に進学して、どこかの会社に就職する。今までそれで良いと思ってきた。しかし、職業適性検査を受け、自分の興味のある職業に就き、なんとなく仕事をするのではなくて、楽しく、やりがいのある職業に就きたいと思った。



私が興味を持った職業は、空港業務スタッフです。空港に行くと、いつも笑顔で対応されている姿を思い出した。まだ幼かったけれど、その姿を見て、あこがれていた自分がいた。以前から、人と接する職業に就きたいと思っていたのもあり、空港業務スタッフに興味を抱いた。実際にそこに就職するには英語を話す能力が必要であり、英語を話すのが苦手なので、それが今後の課題です。

自分が興味のある職業や、あこがれている職業をいくつか想像し、いろんな想像をふくらませることは誰でも一度は経験しているに違いない。

しかし、高校生になると理想や夢だけでは簡単に決められない。やりたいことをするのはもっともだが、自分に合ったものや長い間でも続けられるものを選ばないと、将来困るのは自分である。途中で急に道を変えることは大きなリスクを伴う。そうならないためにも今のうちから、あてもない、こうでもないと思えることは大切だと思った。



適性検査の結果から、また一つ自分の選択肢が広がり、知らなかった職業もいくつか見つかった。自分自身の新しい一面も発見でき、これからの職業選択に大いに役立つ勉強になった。

